

# サタデースクール通信

2019年 8月29日 発行  
教育委員会 生涯学習推進課

サッポロサタデースクール事業は、文部科学省が全国的に推進している地域学校協働活動の一環として、実施しています。

事業のプログラム実施を通して、地域と学校との連携・協働の仕組みを整え、地域全体で子どもを育む環境づくりを進める一手法としてご活用ください。



## ■令和元年度 第 1 回研修会を開催しました！（6月11日）

この研修会は、コーディネーターや運営協議会メンバーの方々を対象に、実践事例の紹介や実施校間の情報交換の機会を設け、情報共有を図ることを目的として実施しています。

### 《研修概要》

- ・講師  
全国体験活動ボランティア活動推進センター  
コーディネーター こうろき ひろし 興 裕 寛 氏  
(昭和女子大学総合教育センター特任教授)
- ・講義  
「子どもを育む『縁』を結ぶ」  
～地域における学校との連携・協働活動の意義とコーディネーターの役割について～
- ・グループトーク  
「コーディネートの“壁”を克服するためにできること」
- ・参加者数  
20校 26名

講師からは、コーディネーターが地域と学校をつなぐ役割を担い、社会全体で子どもを育むことの大切さや、これからの社会を創り出していく子どもたちには、社会的自我の形成や多彩な経験の機会を提供する必要があるなどの講話がありました。

グループトークでは、運営面で困っていることを「壁」に例え、①ボランティアの壁、②プログラムの壁、③コーディネートの壁、④マネジメントの壁という4テーマについて、意見交換を行いました。話し合われた中で、大学生やおやじの会などから手伝いを募集する、コーディネーターを複数体制にする、運営面への参加拡大を図るなど運営の参考となる提案がされていました。



### 《 教育委員会から 》

第2回研修会は、冬の長期休業中に開催を予定しておりますので、準備ができ次第、お知らせします。また、9月に次年度に向けた意向調査を予定しておりますので、ご協力の程お願いいたします。





## 《 事例紹介 》

昨年度冬以降に視察させていただいたプログラムをご紹介します。参加した子どもたちの楽しそうな表情や真剣な表情などからも、充実した時間となっている様子がうかがえました。

### ■「算数道場」(12月27日、新琴似北小学校サタデースクール事業運営協議会)

大学院生が講師を、保護者が〇付けを担当し、子ども自身のレベルに合わせた算数の学習支援を実施。

学習後は頭の体操クイズやしっぽとりゲームが用意され、飽きのない、楽しい企画となっています。



### ■「アダプテッドスポーツ」(1月10日、西園小学校サタデースクール実行委員会)

障がいを持つ方でも、子どもでも高齢の方でも、誰もがスポーツを楽しめるように、ルールや道具を工夫して行う「アダプテッドスポーツ」。ボッチャ、車イスバスケット、ブラインドサッカーなどの6種目を体験しました。



### ■「初歩のスキー講習会」(1月18日、福住小学校地域連携協議会)

3学期から始まるスキー学習に備えて、基礎的な内容を学ぶスキー教室を実施。

子どもの能力に応じてグループを分け、装着したままの起き上がり、スキーでの歩行、斜面での登り方・曲がり方・止まり方などを練習しました。



### ■「いのちの授業」(1月26日、新琴似北小学校サタデースクール事業運営協議会)

自分のいのちがどこから繋がってきたのかを考える「いのちの授業」を実施。絵本や映像を使ったわかりやすい講話で、多くの先祖から今の自分に繋がっていることを気付かされ、いのちの繋がりと大切さを学ぶ機会となりました。







## ■「スキー教室」(2月2日、新陵東小学校サタデースクール運営協議会)

初めてスキーに親しむ低学年向けに、スキー教室を実施。

スキー靴の正しい履き方やストックの持ち方など丁寧な指導を受け、スキー靴に慣れるための歩行、スキーでの歩行やプルークボーゲン等を練習しました。



## ■「冬のつどい(雪中運動会)」(2月9日、幌北小学校サタデースクール運営協議会)

町内会とネオロス(学生と地域で考えるまちづくり会)の協力のもと、パン食い競争や雪中リレーなど雪上の運動競技を実施。

競技後は、キャンドルホルダー作りを行い、夕暮れの校舎前にてキャンドルを灯し、鑑賞しました。



## ■「チャレンジ書道」(3月10日、定山溪中学校サッポロサタデースクール運営協議会)

墨を用いた造形芸術「墨象」体験を実施。

普通の筆と異なる、大きな筆の重量、持ち方、運び方などを体感し、個性あふれる書表現で、書芸術への知識を深めました。



## ■「交通安全教室」(6月16日、北都小学校地域連携協議会)

北都なかよし子ども会及び同会ジュニアリーダーが中心となって、自転車による交通事故を起こさないための交通安全教室を実施。

仮設交差点での実技体験、自転車の乗り間違い探し、交通標識確認、交通安全〇×クイズを通して、体感的に交通ルールを身につけ、安全に対する意識を高めました。







## ■「プログラミング体験」(6月30日、五天山サタデースクール運営協議会)

(株) シェアデザインを講師に招き、ピンポン玉のような形のロボット「オゾボット」を用いて、プログラミング的思考を学ぶ教室を実施。

動く指令は色(カラーコード)で行う仕組みとなっており、パソコンやタブレットは用いず、紙と色ペンを使って、どう動かしたいか、思い描いたとおり動くかなど、思考力を培いました。



## ■「工作教室」(7月20日、発寒南小学校地域連携協議会)

使わなくなった木片から、えんぴつホルダーを作成する工作教室を開催。

一般的に廃棄される木片を活用し、ヤスリがけ、ペインティングをし、子どもの個性豊かなホルダーができあがりしました。作成を通して、物を大事にする心も培い、夏休み自由研究のアドバイスも兼ねられていました。



### 《 もし、ケガしたら? 》

怪我をしないことが第一ですが、プログラム実施に伴い、万一、怪我や事故などに遭ってしまった場合、どうなるのか。お問合せを多くいただく「保険」について、ご説明いたします。

プログラム参加者、講師、コーディネーター、運営スタッフの方を対象として、傷害保険と生産物賠償責任保険に加入しています。

	傷 害 保 険	生 産 物 賠 償 責 任 保 険
補償内容	プログラム実施中及び自宅と活動場所の往復中の事故	事業における料理教室等で提供・販売する食品(生産物)に起因して生じた対人事故
保険金額 (支払限度額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院日額 3,000 円 (180 日限度)</li> <li>通院日額 2,000 円 (90 日限度)</li> <li>死亡、後遺障害 2,000 千円</li> </ul> ※1 名あたりの額	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険期間 100,000 千円</li> <li>1 事故 100,000 千円</li> <li>1 名 100,000 千円</li> </ul>
備 考	寄り道した場合は対象外 宿泊を伴う場合は担当課へ要連絡	

教育委員会に加入している保険のほかに、札幌市PTA共済会の保険対象となる場合がありますので、ご確認ください。

